

佐賀市「参加と協働をすすめる指針」—みんなで取り組むまちづくりのために—

佐賀市
「参加と協働をすすめる指針」
—みんなで取り組むまちづくりのために—



佐賀市
参加と協働の
まちづくり

佐賀市

佐賀市

はじめに

「参加」そして「協働」。

今や、この考え無くして、私たちが暮らしやすいまちづくりを行うことはできない時代を迎えています。

しかし、残念なことですが、これだけ大切で重要な考え方がそれほど正確には広がっていないというのも事実です。

ただ、逆転の発想で考えれば、この考え方をいち早く学んでしっかり取り入れていけばそれだけ、今より確実によいまちづくりが進んでいくということでもあります。

そこで、佐賀市は「参加と協働」のまちづくりに取り組んでいくための「拠り所」として、この指針を策定しました。

そして、この指針を、まちづくりに関わろうとする「あなた」へおくります。

「参加」や「協働」がよく分からないという人は、まずこの指針で「知ってみる」ことから始めましょう。

もう知っているという人は、さらにこの指針で「もう一度確かめてみる」ことから始めましょう。

まちづくりに取り組む皆さんが、この指針をしっかり理解し、実行することで佐賀市のまちづくりは確実に変わっていくはずです。

佐賀市が理想として目指す、“人と自然が織りなす「やさしさと活力にあふれるまち さが」”を皆さんとともに「参加」と「協働」でつくりあげるため、この指針をたずさえて、その一歩を踏み出しましょう。

平成21年3月

佐賀市

目 次

本指針の構成と特徴

1. 本指針の構成について	1
2. 本指針の特徴について	1

第1編 課題編

第1章 佐賀市の「現状と課題」を知る	3
（1）佐賀市の現状	4
（2）これからの課題	6

第2編 基礎編

第1章 「言葉の意味」を知る	9
（1）「参加」とは何か	10
（2）「協働」とは何か	11
（3）「参加」と「協働」の同じところ、違うところ	12
（4）佐賀市の「参加」と「協働」の考え方	13
第2章 「取り組む人々（組織）」を知る	15
（1）市 民	16
（2）市民活動団体	16
（3）企 業	18
（4）行 政	18
第3章 「求められる理由」を知る	19
（1）変わりゆく私たちの社会…	20
（2）行政は今…	20
（3）企業は今…	21
（4）市民・市民活動団体は今…	21
（5）だから、まちづくりを「共同経営」で	21
第4章 「それで何が変わるのか」を知る	23
（1）みんなにとって、ココが変わる！	24
（2）市民にとって、ココが変わる！	24
（3）市民活動団体にとって、ココが変わる！	25
（4）企業にとって、ココが変わる！	25
（5）行政にとって、ココが変わる！	25

第3編 実践編

第1章 「協働の原則」を知る	27
（1）対等な関係で	28
（2）同じ課題と目的に向かって	28
（3）結果だけでなく過程も大切に	28
（4）互いの役割と責任を明確に	28
（5）互いの違いを認め合う	28
（6）自立と自律を忘れずに	29
（7）開かれた活動を意識して	29
（8）始まりだけでなく終わり方も大事	29
第2章 「さまざまなカタチ」を知る	31
（1）関係によるカタチ	32
（2）始まり方のカタチ	33
（3）関わり方のカタチ	34
（4）手段のカタチ	35
第3章 「取り組みの手順」を知る	39
（1）考える・組み立てる	40
（2）取り組む・確認する	41
（3）ふりかえる・共有する	41
（4）見直す・磨き上げる	42
（5）段階を上げる	42
第4章 「なじみやすい取り組み」を知る	45
（1）協働になじみやすい取り組みとは	46

第4編 展望編

第1章 「これからの歩み」を考える	49
（1）みんなで目指すこと	50
（2）市民が目指すこと	50
（3）市民活動団体が目指すこと	51
（4）企業が目指すこと	52
（5）行政が目指すこと	53
（6）指針に求められること	55

本指針の構成と特徴

1. 本指針の構成について

この指針は、4編（全10章）から構成されており、その概要は次のとおりです。

■第1編 課題編（全1章）

本編では、「参加」や「協働」をめぐる佐賀市の現状を知り、どのような問題や課題があるのかを理解します。ここで提起した課題の解決策を考える上で前提となる知識や手順を、次からの各編で理解する構成としました。

■第2編 基礎編（全4章）

本編では、「参加」や「協働」の定義、それが求められている理由や社会背景、取り組む主体、期待される効果など、取り組む前に理解しておきたい基礎的な項目について理解できるように解説しています。

■第3編 実践編（全4章）

本編では、実際に取り組む際に不可欠な考え方や進め方、原則、形態、手順、ふさわしい取り組みのあり方について理解が深まるよう解説しています。

■第4編 展望編（全1章）

本編では、第1編で提起した課題について、「参加」や「協働」に取り組む主体が今後どのような考え方をもって解決に導いていくべきかを示しています。

2. 本指針の特徴について

①具体的で活用しやすい内容で

「参加」や「協働」という取り組みのあり方を示すような指針において、理念や大まかな方向性だけを示すだけでは、その理解や行動はなかなか広がっていきません。

そこで、本指針においては、理念や方向性を示すと共に、実際に事業に取り組む際にも役立つような項目もできるだけ盛り込みながら作成を進め、現場でのテキストとしても活用できるように構成しています。

②できるだけ分かりやすい表現で

解説の文章には、一般的に分かりにくい用語や外来語をできるだけ避け、分かりやすい表現をするように心がけています。

③すばやくポイントを押さえられるように

各章の扉に、その章で押さえておきたいポイントをまとめて掲載しています。このポイントをもとに詳細を読み込んだり、後で要点を確認したりする際に活用できるように工夫

しています。

④いろいろな読み方ができるように

第1編から第4編まで順に読んでいけば、佐賀市がすすめている「参加」と「協働」の考え方が体系的に理解できるような構成を基本としていますが、それぞれの章は独立した項目としても理解できるように解説していますので、興味のあるところ、より理解を深めたいところ、調べたいところから読んでも分かるようにも構成しています。

